

第18回

佐世保かっちえて落語会

瀧川鯉昇 桃月庵白酒 三遊亭兼好



鯉昇

撮影：御堂義乗

その飄々としたおかしみのある高座は脱力系“鯉昇ワールド”と称され、黙っているだけでも笑える不思議な魅力のある噺家である。



白酒

その愛嬌ある風貌と正統派の口跡とは裏腹に独創的で現代的センスあふれるギャグを入れながらの古典落語の面白さは、絶品である。



兼好

その明るくてパワフルな表現力により、いまや人気も実力も急上昇であり、抜群に楽しい高座は必見必聴である。佐世保は、初登場。



瀧川鯉ん

鯉昇師匠の弟子で“二つ目”。
(佐世保南高の卒業生)

前座 | 佐世保かっちえて落語っ子

古川 万葉(広田小3年)・藤田 乙芭(大久保小5年)
朝長 心(北中2年)・松尾 壮馬(祇園中2年)・古川 咲弥(高専1年)

◆日時: 2018年 **12月2日(日)** 開場/午後3時30分 開演/午後4時

◆会場: **佐世保コミュニティーセンター5F**

◆料金: <大人> 指定席/2,500円 自由席/2,000円
<小中高生> 全席/1,000円



<チケット販売/問い合わせ先>

佐世保かっちえて落語会 実行委員会事務局 | **TEL0956-32-0888**
佐世保市干尽町2-5 観光交流センター 2階 Soup-Up させぼ内 | (月~金 午前9時~午後6時)

<企画>海老原 靖芳 <後援>佐世保市教育委員会・長崎県立佐世保南高柏葉会

印刷: プリント工房させぼ